

## 児童の善悪判断に関する調査

亀 田 久

Hisashi KAMEDA

### I 目 的

児童は、自己や他人の行為の善悪について、どのように考えているであろうか。この問題は教育に携わる者にとって興味ある教育上の問題である。

児童の行動の特質や能力の程度を正確につかむ事と、それらの特質や程度が児童とつてどのような意味をもっているかを理解する事は、あらゆる評価にとつて欠く事の出来ない問題である。そこで県下6校の小学校における実情を調査し、その結果に基いて考察を進める事にする。この調査は児童の道徳的価値判断における項目設定の為の予備的調査である。

### II 方 法

#### 調査対象及び調査の時期

鹿児島市、揖宿郡、始良郡、薩摩郡内の6小学校1年—6年、男女計4,772名について、昭和26年7月—10月の間に実施した。

#### 調査の手続

次のような問題を質問紙法により、担任教師に依頼して、記入するのに十分な時間を用意して記入させてもらった。但し1年其の他で筆答不能の者については担任教師に代筆を依頼した。

a, 善いと思うことと、悪いと思う事を各三つづつ書く。

b, 最近両親にどのような事で称讃をうけたか、又叱責をうけたかについて各三つづつ書く。

本論文に於ては a 項を主として b 項については参考に止める。

### III 結果の整理及び考察

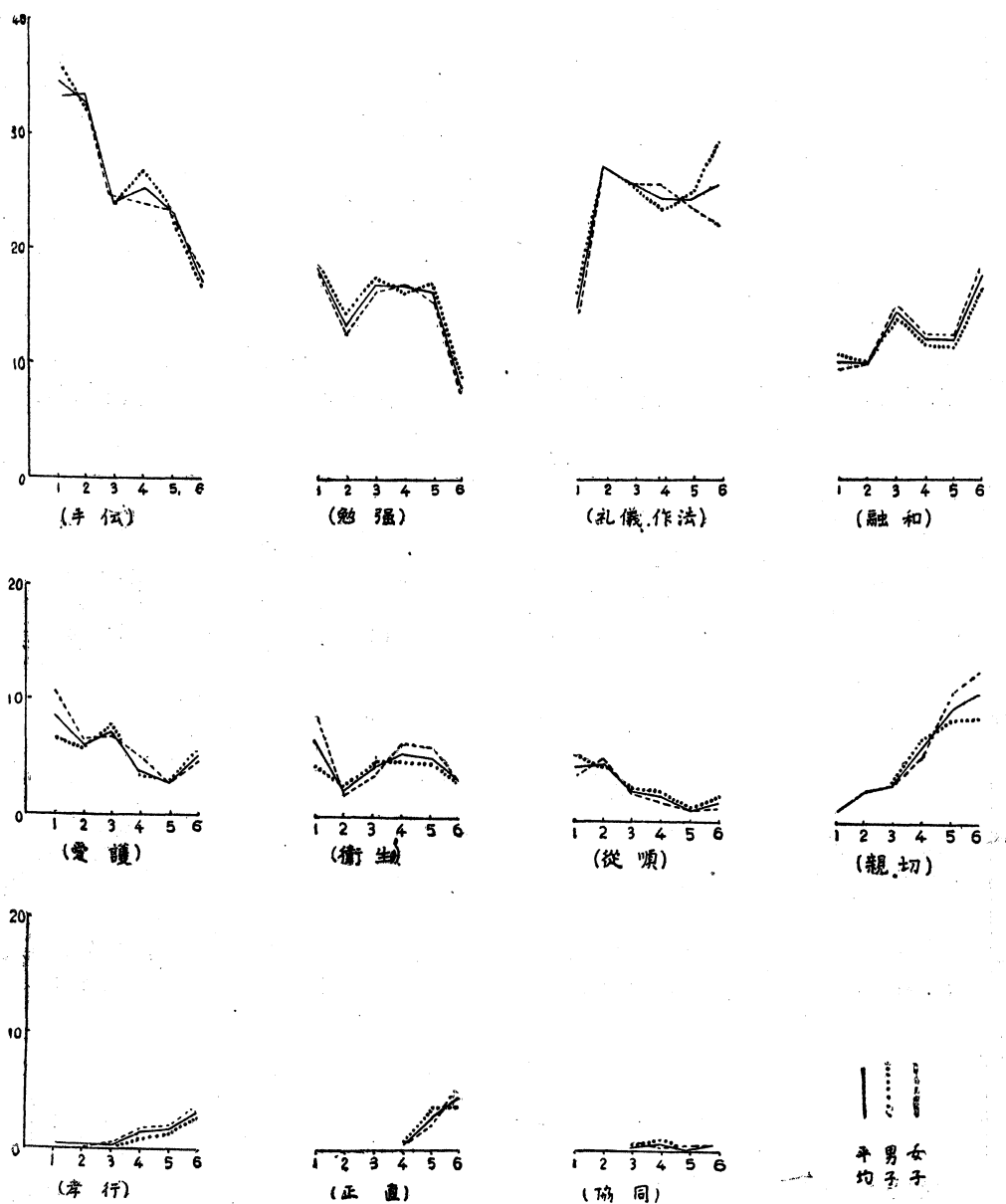
整理の仕方は解答を分類し、善判断については手伝勤勞、勉強、礼儀作法、融和、愛護、衛生、従順、親切、孝行、正直、協同、悪判断については、不作法、不和、せつ盗、不従順、不規律、不親切、悪戯、怠惰、不健康、浪費、不正直、不孝、無責任とした。

結果は第1図—第4図に示すようになった。

これを概観すると、善判断においては、手伝と勉強は低学年では、非常に高率であるが、学年の進むに従つて低下して居り、勉強の徳目は順位から見ると中位程度になつている。これに対して親切、正直、孝行は、低学年では極く僅かか或は見られないが、学年の進むにつれて上昇を示し、特に親切は、比較的高率になつている。礼儀作法については、1学年を除いては余り変動がなく頻数が高い。

次に性別による傾向上の差異は殆どなく、唯礼儀作法において女子は、2学年以後徐々に下降を示しているのに対し、男子は中学年頃から上昇し、最終学年では相当の距りが見られることが目立

第一図 善 断 判



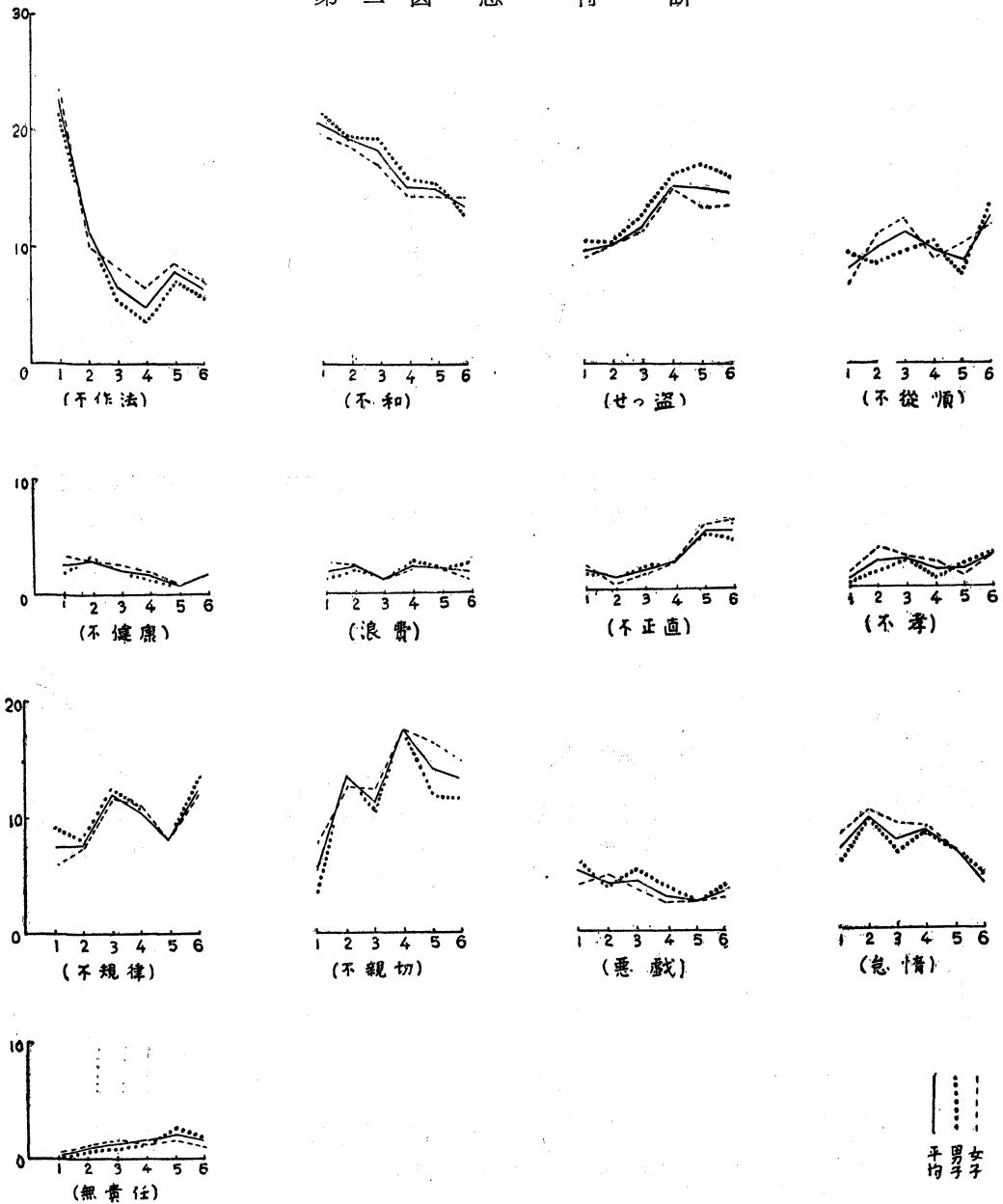
つている程度である。他の徳目については多少の相違はあつても傾向としては同一方向を示している。

以上の動揺を通じて道德觀念の発達を見ると、手伝、勉強等を低学年者は大切に守らなければならない教として考へているが、学年の進むに従つて更に他に重大な徳のあることを知るようになる。

悪判断については、低学年において比較的上位にあるものは、不作法、不和、せつ盗、不規律であるが、不和は徐々にではあるが、学年の進むに従つて下降して居り、せつ盗、不従順は上昇して居る。また不作法については、中学年までは急激な下降を示しているが其の後上昇している。これは中学年を一転機として、内容的、質的な変化を来して居ると考えられる。低学年に就ては、頻数の少ない不親切、不正直、無責任は学年の進むは従つて幾分上昇している。

性別による傾向上の差異は、善判断同様に殆ど見られないが、不従順とせつ盗については僅かな

第二図 悪 判 断



がら、3、4学年の頃に差異が見られている。

次に善判断を地域別に眺めると第3図のようになる。これによると市内では低学年で高く評価されている手伝、勉強、礼儀作法は何れも学年の進むに従って下降傾向を示している。これに対し、正直、孝行、親切は低学年では下位にあつたり、見られなかつたりしているが、学年の進むにつれて上昇しているのが、前3者と対照的である。市外においても礼儀作法を除いては傾向上の差異は全体として余り見られない。悪判断については、市内では不和は学年の進むにつれて下降しているが、市外では zigzag であり上学年では僅かながら上昇を示している。不従順についても上学年に就て反対傾向が見られる。然しながら其の他の項目については余り顕著な差異は見られない。

以上総括的に見て善悪判断について、顕著に見られる点は、低学年においては一般的に一つの徳目に偏しているが、学年の進むに従って、徳目についての分化が現われ、頻数は一応の balance が

とれている。尙解答の内容上の傾向として、低学年に於ては比較的具体的、行動的であるが、学年の進むにつれて論理的、抽象的になつており社会認識の拡大が見られる。

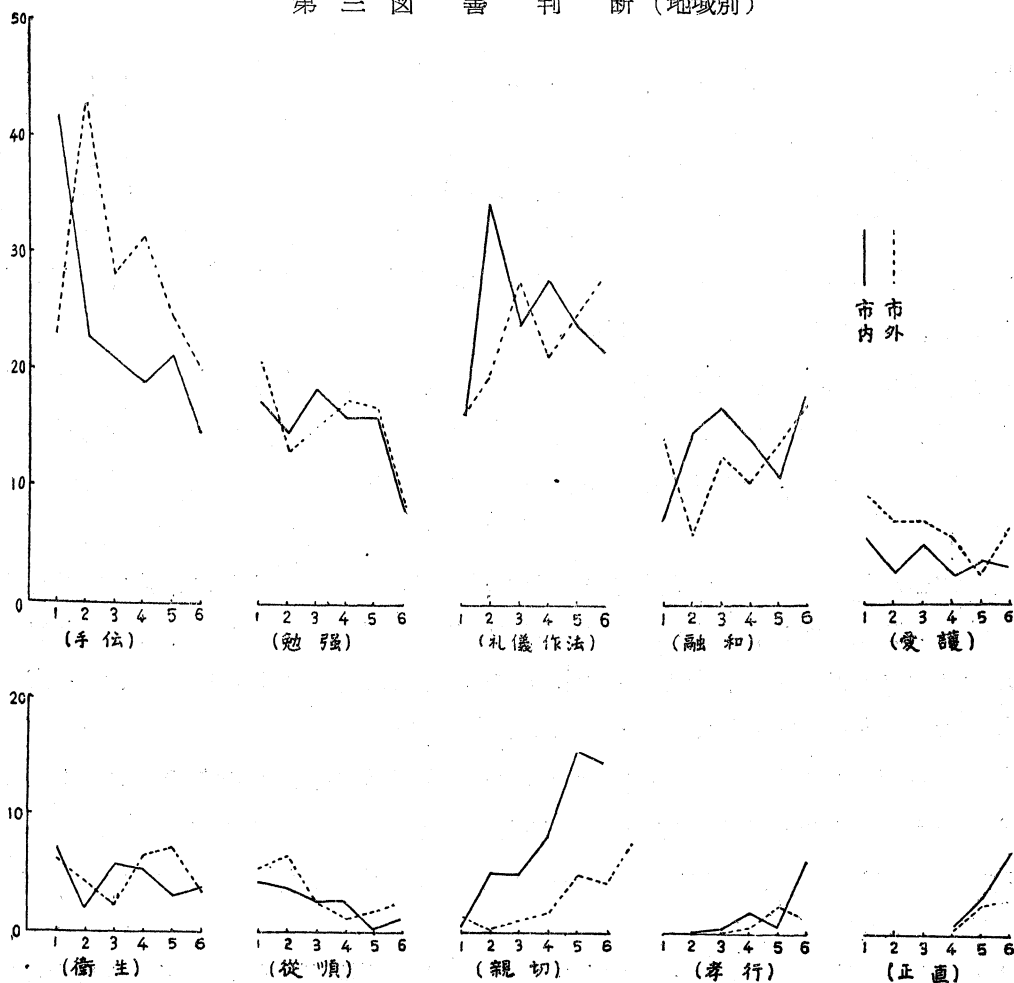
次に称讃叱責と善悪判断との関係を主なものついて略述すれば第5図に示しているように愛護については、両者は大体並行状態を示している。これに対し手伝は学年の進むにつれて距りが大きくなり反対の傾向が見られる。手伝についての称讃の増加は年令の増加に伴ひ、能力的にも機会の上からも一応首肯できる。又従順については低学年と高学年で反対傾向を示している。次に不勉強、悪戯は並行状態にあり、怠惰、意地悪、不和、不従は、前二者が学年の進むにつれて距りを示し反対傾向が見られるのに対し、後二者は徐々は接近しているのが対照的である。又不作法については終始同一傾向を示し、而も頻数についても略一致している。

次に目的に示してあるように道徳的価値判断の調査項目を解答内容に従つて一応学年別に設定すると、

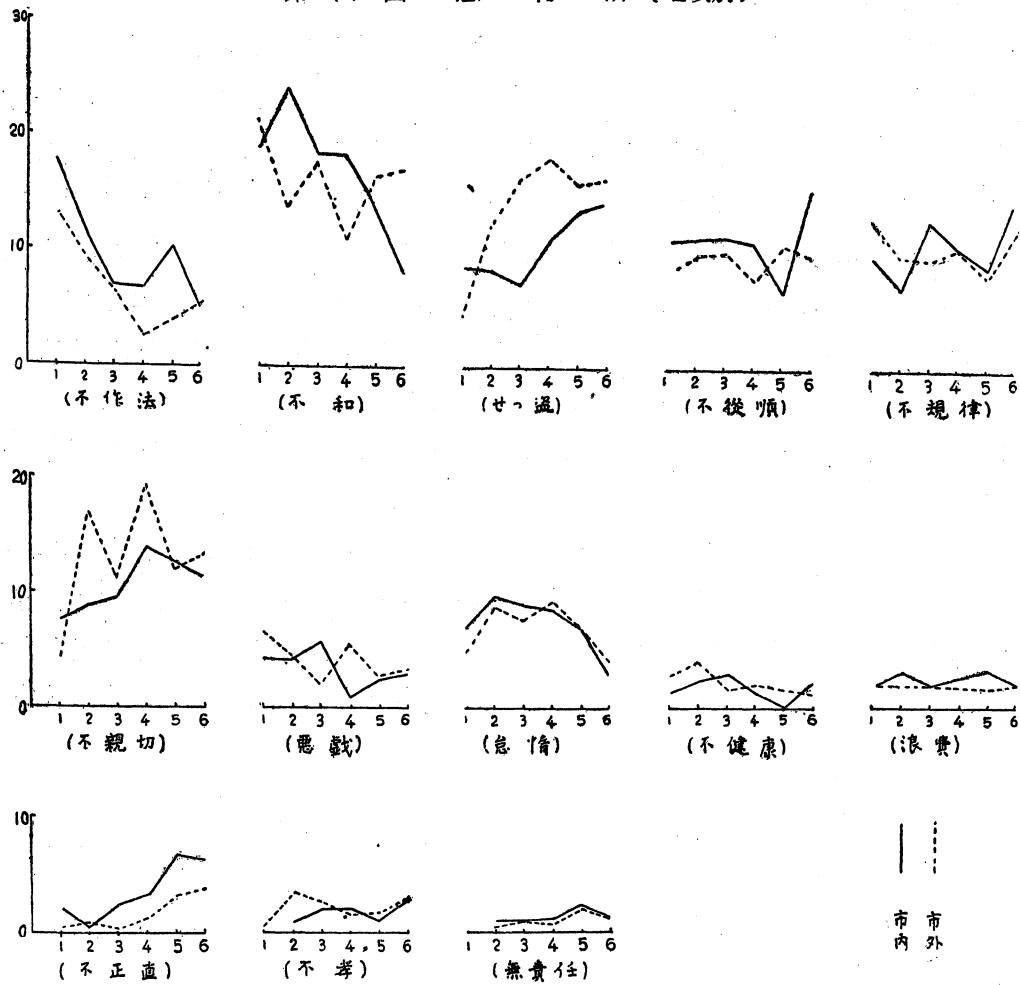
第1学年、善。掃除の手伝をする。親の使をする。庭を掃いたり、水を撒いたりする。復習をする。人前で行儀よくする。元気に仲良く遊ぶ。弟や妹の守をする。幼い者を可愛がる。手や顔をきれいに洗う。親や先生の言ひつけを守る。庭や畑の草取りをする。遊んだ後のあと片付けをする。

悪。勉強や遊戯の邪魔をする。机や膳の上に足をのせる。他人のものを盗む。親や先生の言つけ

第三図 善 判 断 (地域別)



第四図 悪判断 (地域別)



を守らない。石を投げる。弱い者や幼い者を泣かせる。茶碗や硝子をわる。家の中で暴れたり廊下を走つたりする。勉強をしない。友達と喧嘩をする。

第2学年善。親の手伝や使をする。知人に会ったら挨拶をする。勉強をよくする。友達と仲良く遊ぶ。小さい者の守をしてやる。親や先生の言いつけをよく聴く。動物や花樹を可愛がる。人が悪いことをしていたら止める。朝早く起る。庭や畑の草取りをする。掃除をきれいにする。自分の事は自分でする。

悪。他人を打つたり、悪口を言つたりする。弱い者や小さい者をいぢめる。廊下を走つたり、暴れたりして勉強の邪魔をする。自動車の後にぶらさがる。勉強をしないで遊んでばかり居る。石を投げる。めだまやカルタをする。夜遅くまで起きている。家の手伝をしない。人の嫌う事、困る事をする。甘えたり、人にばかりしてもらふ。人の邪魔をする。

第3学年善。右側通行を守る。教室や部屋をきれいに掃除する。静かに勉強する。幼い者を可愛がり、よく守をする。動物や植物を可愛がる。早起きをする。小さい者が泣いていたら連れて行つてやる。言いつけをよく聴く。良い言葉を使う。手伝や使をする。仲良くする。姿勢を正しくする。他人によい事を教えてやる。

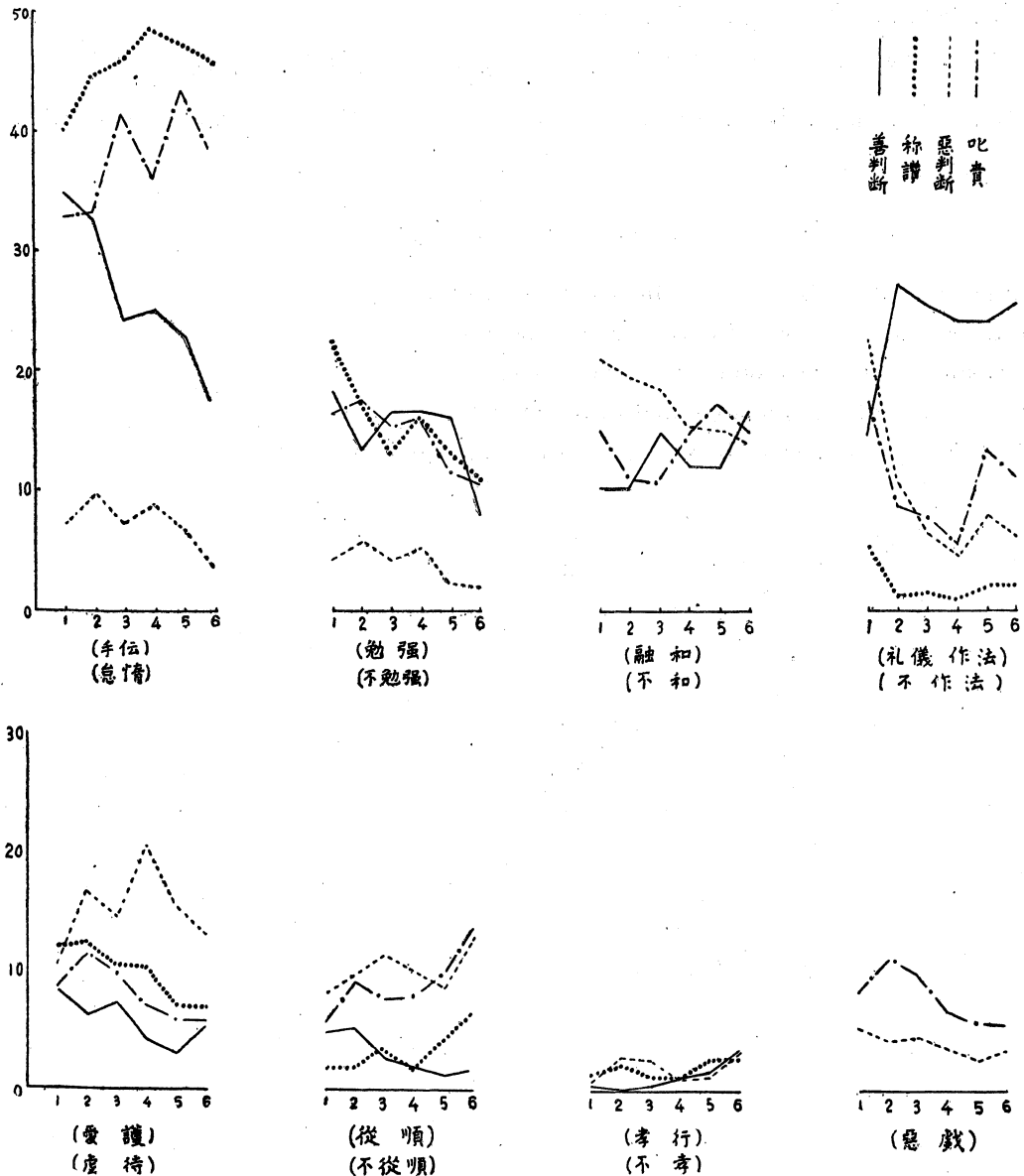
悪。他人をいぢめたり、悪口を言う。他人のものを盗む。道路端で遊ぶ。電車や自動車に乗つて

さわぐ。人にもものをぶつける。おとし穴を造つて喜ぶ。落書きをする。遊んでばかりいて勉強しない。喧嘩をする。危険な遊びや、危険な所に行く。言いつけを聞かない。悪い言葉を使う。人の邪魔をする。

第4学年 善。家に飼つている動物の世話をする。庭、畑の草取りをする。勉強をする。幼い者を可愛がる。早起きをする。間違つている人、解らない人には教えてやる。良い事は言われなくてもする。親切にする。言いつけを聴く。衛生に注意し、身体を大切にする。人の為に尽くす。礼儀正しくする。言葉使をよくする。手伝や使をする。仕事を一生懸命する。

悪。ものをぶついたり、いぢめたりする。他人を馬鹿にする。他人の家に無断で入る。落書きをする。校舎、学校の物に傷をついたり、こわしたりする。益鳥(燕)をとる。勉強しない。無駄使をする。嘘をつく。約束を破る。他人に悪い事をする。言葉使が悪い。交通違反。交通妨害。喧嘩。

第五図 善悪判断と称讃、叱責



せつ盗。人に危害を加える。

第5学年 善。勉強。目上の人に席を譲る。年下の者をいたわる。子守をする。目上の人のお勧めの事を守る。物を大切に使う。可哀想な人を助けてやる。言葉使いをよくする。挨拶。陰日陽なく働く。手伝。仲良くする。世の為になる事をする。親切。孝行。約束を守る。整理整頓。良友と交わる。努力。正直。

悪。仕事をするとき不平を言う。借りたものや公共のものを粗末にする。カンニング。子供の飲酒。喫煙。陰でこそこそする。夜遊び。する休み。他人のものに手をかける。せつ盗。悪い心を起す。喧嘩。悪口。人をいぢめる。言いつけを守らない。決つた事を破る。人を騙す。無駄使。仕事。手伝をしない。悪友と交わる。危険な遊び。言葉使が悪い。

第6学年 善。人の注意を素直にうけ入れる。礼儀正しい。仕事。手伝。選り好みをしない。仲良くする。慈善。勉強を教える。丁寧。勉強。正直。孝行。他人を考える。交通道徳を守る。従順。清潔。整頓。健康。自立。独行。人に悪い事をさせない。

悪。火遊び。博奕。人をこき使う。殺害。せつ盗。喧嘩。戦争ごっこ。夜遊び。交通妨害。不良行為。我儘。悪戯。乱暴。嘘言。騙す。不正行為。浪費。危険な遊び。怠惰。反抗。人を無視する。不従順。不健康。

#### 参 考 文 献

- A. GESELL and F. L. ILG, The child from five to ten.  
 L. D. CROW and A. CROW, Educational psychology.  
 F. L. GOODENOUGH, Developmental psychology.  
 L. P. THORP, Child psychology and development.  
 M. E. BRECKENRIDGE and E. L. VINCENT, Child development.  
 山下 俊郎 児童心理学  
 青木誠四郎 児童心理学  
 牛島 義友 児童青年の道徳意識 教育科学 14 卷